

総合リハビリテーション研究大会

第31回 総合リハビリテーション研究大会 第8回 広島国際大学市民福祉公開講座

テーマ：「手と手を・・・ひろしまからの発信」

in 広島

開催要旨

「リハビリテーションは、障害をもった個人を援助し、可能なかぎりその機能を発揮させるように、そして社会の中にインテグレート（統合）させるように、医学的・社会的・教育的・職業的な手段を組み合わせることで実行する過程である。リハビリテーションは、障害をもった個人がなしえないことよりも、残された能力によって何をなすうかが重要であるという哲学に基づいている。各個人が有するすべての能力を、最大限に活用した生活へのアプローチである。」と定義されています。ご承知のように広島の地は、地域リハビリテーションの原点である、「人が人に対する優しさ」を具現化してきた土地です。この地でなしたことを、また、われわれがこれから成さなければならないことについて、ともに考える大会にしたいと思います。初秋の広島で皆さまのお越しをお待ちしています。

8/29^金
午後1時
開幕

日時	2008年8月29日 ^金 ～30日 ^土
会場	広島国際会議場（広島市中区中島町1-5） http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/
参加費	一般 3,000円 学生 1,000円

日程

8/29^金

- ◎ 実行委員長挨拶：畑野 栄治先生（はたのりハビリ整形病院・院長）
- ◎ 基調講演：山口 昇先生（公立みつぎ総合病院・事業管理者）
「地域リハビリテーションと地域包括ケアシステム」
- ◎ 最新の情報提供（R1）（上田 敏先生・日本障害者リハビリテーション協会顧問）
- ◎ 分科会コーディネーターから（分科会の要旨）
 - 1 権利条約の行方……………（尾上 浩二氏 日本 DPI 事務局長）
 - 2 「生きにくさ」と向き合う……………（藤井 克徳氏 常任委員・きょうされん常務理事）
 - 3 新しい障害定義（ICF）の意味……………（大川 弥生氏
国立長寿医療センター研究所 生活機能賦活研究部部長）
 - 4 組織連携とコーディネート……………（橋本 康男氏
元広島大学地域連携センター教授（広島県国際課長））
 - 5 社会資源の創造……………（森 浩昭氏 「僕らのアトリエ」販売店代表）
- ◎ 夕刻より 懇談会（料亭 久里川 会場からバス輸送・車いす利用者には別途対応）

8/30^土

- ◎ 午前：各分科会に分散してディスカッション
- ◎ 午後：全体会・まとめ・常任委員長挨拶

- 【主催】 「総合リハビリテーション研究大会 in 広島」実行委員会
財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
- 【後援】 内閣府、厚生労働省、文部科学省、広島県、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
独立行政法人 高齢・障害者雇用促進機構、日本障害フォーラム、中国新聞社、NHK 広島放送局、
中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島県医師会、
全国老人保健施設協会広島県支部、広島県訪問看護ステーション協会、
広島県地域包括支援センター在宅介護支援センター連絡協議会、広島国際大学
- 【生涯学習】 日本理学療法士協会（生涯学習基礎プログラム）、日本作業療法士協会（SIG 認定取得研究大会）
- 【お問い合わせ】 財団法人 日本障害者リハビリテーション協会：URL://www.normanet.ne.jp/~rehab
「総合リハビリテーション研究大会 in 広島」事務局
〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36 広島国際大学医療福祉学部 坊岡研究室
TEL/FAX：(0823)70-4897 E-mail：riha31@hw.hirokoku-u.ac.jp